

平成 18 年度 生命薬科学特論 IV 講義日程

場所：教育棟マルチメディア講義室

日時：火曜日午前 8：45～10：15 [10月3日、10月24日、11月28日は休講]

10月 10日(火) 「樹状細胞を介する免疫応答の制御」

稲葉 カヨ：生命科学研究科体制統御学講座教授（生体応答学分野）

10月 17日(火) 「細胞遊走性サイトカイン（ケモカイン）系の生理機能と病的役割」

義江 修：近畿大学医学部細菌学講座教授

10月 31日(火) 「ウイルス改変に基づいた遺伝子導入技術の開発と先端科学への応用」

水口 裕之：医薬基盤研究所基盤研究部遺伝子導入制御プロジェクトリーダー

11月 7日(火) 「ウイルスのトロピズム(細胞親和性)や宿主域はどのようにして決まるか」

柳 雄介：九州大学大学院医学研究院教授（ウイルス学）

11月 14日(火) 「HIV感染症とヒト遺伝子多型」

塩田 達雄：大阪大学微生物病研究所感染機構研究部門教授（ウイルス感染制御分野）

11月 21日(火) 「低分子G蛋白Rap1：その機能と制御および生体内での役割について」

湊 長博：生命科学研究科認知情報学講座教授（生体制御学分野）

12月 5日(火) 「パターン認識レセプターの微生物認識と細胞応答」

瀬谷 司：北海道大学大学院医学研究科病態解析学講座教授（感染症制御学分野）

12月 12日(火) 「ウイルス感染を感知するRNAヘリカーゼと抗ウイルス自然免疫反応」

藤田 尚志：ウイルス研究所教授（分子遺伝学研究分野）

12月 19日(火) 「自然免疫と病原体認識」

審良 静男：大阪大学微生物病研究所生体防御研究部門教授（自然免疫学分野）

[10月3日(火)、10月24日(火)、11月28日(火)は休講です]

注意事項：

・受講者は聴講後、その週の金曜日までにレポートを渡部(分子微生物学分野)まで提出すること。尚、レポートは指定の用紙(講義終了時に配付、コピー不可)に講義の概要と感想・意見を記したものとする。

問い合わせ先：

渡部好彦（薬学研究科分子微生物学分野 Tel: 753-4577）